



三重塔 秋

昨年末から今年の春にかけて、北国では豪雪。六月には大阪北部での大きな地震と、七月初めにかけての台風七号と梅雨前線の影響による、西日本を中心とした全国的な豪雨災害。異常な動きをした台風十二号と、八月末と九月初めに近畿地方に上陸した台風二十号と二十一号。そして九月六日に発生した北海道胆振東部地震など、全国で大きな自然災害が発生しました。被災された皆様には、心からお見舞い申し上げます。

気象予報や土木工学の飛躍的な進歩も、このような大自然の威力の前には無力に思えますが、この科学技術の発達が被害を小さく、復旧を迅速にしているのも事実です。このような科学技術が日に日に進歩している世の中ですが、非科学的な他愛もない事を根拠にする、縁起の良し悪しが言われ、この縁起という言葉を、本来と違う意味でとらえている人がおられます。

非科学的要素を一切受け付けないはずの大

青葉の笛だより

第 26 号

平成 30 年 10 月号

発行所：大本山 須磨寺

〒654-0071

神戸市須磨区須磨寺町4-6-8

TEL 078-731-0416(代)

<http://www.sumadera.or.jp/>

病院でさえ四階がなく、四という数字のつく病室がなかったりします。これは四という数字を、死と発音するところの嫌悪感からで、気持ちには判りますが、四という数字と死という字との間には、何らのつながりはありません。

「四十九日が三月（身突き）にまたがるので、切り上げる」や、「お線香

は三本立てねば先祖が祟る」なども、仏の教えとは関係ありません。「三本のお線香は過去・現在・未来の仏様に供える」と言う方もおられますが、それはそのような気持ちでお供えすれば良いのであって、お経の中に線香の本数のことなどは書いてありません。

「縁起」とは「全ての物事は因縁による」と言うことです。花の種という「因」も、机の上に置いただけでは花という「果」は生まれません。土と水と光という「縁」が加わることで、初めて花という「果」が出てくるということです。これが「因縁」であり「縁起」ということなのです。本来の「縁起」や「因縁」の意味を知り、兆しや前兆として使われる非科学的で無意味な「縁起が良い、悪い」という言葉に縛られる事なく、心軽やかに自由に過ごしてまいりましょう。

大本山須磨寺 貫主

合掌

小池 弘三

東日本大震災チャリティー 2000人ギター弾き語り



去る9月15日に「2000人ギター弾き語り」のチャリティーイベントが行われました。このイベントは須磨区在住のシンガーソングライターで、須磨のご当地歌のお兄さんとして活動されている「しんごお兄さん」が発起人となり、楽器の弾き語りや東日本大震災の被災地を応援するという催しです。イベント当日に募金を呼びかけ、集まった寄付金でギターやウクレレなどを購入し、東北の小中学校などに寄贈しています。しんごお兄さん自ら東北まで楽器を届け、子どもたちに楽器の演奏を教えるところまでがプロジェクトとなっています。震災のあった2011年から毎年開かれており、第8回目を迎えた今回、初めて須磨寺で開催されました。

開催当日、不安定な天候にもかかわらず、境内にはギターやウクレレなどを手にした約400名の方が集まり、「夕焼け小焼け」や「上を向いて歩こう」などを一緒に歌い奏でて、東北の被災者にエールを送りました。

今回集まりました募金額は138,678円で、ギターとウクレレを購入し、宮城県南三陸町の子どもたちに届ける予定となっています。ご参加してくださった方々へ感謝申し上げ、ご報告とさせていただきます。

蓮生院十一月行事予定

今を大切に生きるための エンディングノート

人生のエンディングである「死」について考えてみませんか？「死」は後ろめたイメージがあるのだから考えることを避けがちですが、より良く「生きる」ためには「死」と向き合うことも必要です。

「自分の死」を意識することで本当に生きたい生き方を共有しませんか？

日時：十一月十七日（土） 十三時～十五時
場所：蓮生院客間
参加費：千円
持ち物：筆記用具・お飲み物
講師：山脇由記子

瞑想体験会

お寺で瞑想の体験会を致します。気軽にできる瞑想体験ですので、瞑想をしたことがない人でも気軽に参加ください。また瞑想会の後にお茶を出させていただきますので、心身共にゆったりしてください。

（足を組みやすい服装でお越しください）

日時：十一月十一日（日）
十四時～十五時半（受付は十三時半から）
場所：蓮生院本堂
参加費：千円
講師：富永龍弘

どちらも事前申し込み制です。
前日までに蓮生院の寺務所にお申込みいただくか
お電話でお申し込みください。

蓮生院電話番号〇七八ー七三一―二三二一

須磨の火祭り



来る十一月二十三日(祝・金曜日)午前十一時より、須磨寺秋季大祭「須磨の火祭り」(柴燈大護摩供、火生三昧火渡り修行)を厳修致します。柴燈護摩とは、屋外で焚く大護摩のことです。もともとは山伏が山の中で行っていた修験道の修行であり、不動明王の智慧の火によって皆様の諸願成就を祈ります。護摩壇が点火されると、境内は煙で包み込まれます。この煙にあたれば、無病息災のご利益を得られると伝えられています。法要の最後には、火渡り修行が行われます。火渡りは火の上を歩く荒行です。浄火によって煩惱を焼き尽くし、古い身体と別れ新たに生まれ変わるといふ意味があります。この一年を無事に終えた事を仏様に感謝し、火渡りによって身を清め新しい年をお迎え下さい。

記

- 一、日時 十一月二十三日(金曜日・祝日) 午前十一時開白
- 一、会場 須磨寺境内 ※荒天時は、護摩堂にて
- 一、ご祈禱 特別祈禱札 一万円・三万円・五万円
添護摩木 千円
- 一、火渡り 厄年特別火渡り 五千元
一般火渡り 二千元(先着百五十名)
- ※火渡り申込の方には当日お礼、行者手ぬぐいをお渡しします。
※火渡り神事は荒行です。多少のやけどもありません。
申込書の注意をよくお読みの上お申し込みください。
- 一、お申し込み 須磨寺派各寺院にお申し込みください。

特に来年厄年を迎える方は、厄難消除のために、火渡りをされることをおすすめします。

平成三十一年 厄年表

平成 十三年生 (女性) 厄年	平成 七 年生 (男性) 小厄
昭和六十二年生 (女性) 前厄	昭和五十四年生 (男性) 前厄
昭和六十一年生 (女性) 本厄	昭和五十二年生 (男性) 本厄
昭和六十一年生 (女性) 後厄	昭和五十二年生 (男性) 後厄
昭和五十八年生 (女性) 厄年	昭和三十四年生 (男性) 厄年
昭和三十四年生 (女性) 厄年	

須磨寺 子ども寺子屋修行

須磨寺では毎年七月三十日に、子どもたちが一日修行体験をする寺子屋修行を行っています。今年は四十名の子どもたちが明るく楽しい雰囲気の中、修行することができました。ふだん学校では学ぶことのできない礼儀作法や読経・座禅などを通じて様々なことを感じたことと思います。今回参加して下さった山田実央さんと山田菜央さんの感想文を掲載させていただきます。



たのしかった

てらこやしゅぎょう

花谷小学校 1年 山田 実央

わたしがいちばんたのしかったことは、おじゆずづくりです。

むらさき、ピンク、オレンジ、あともかわいく、きれいなおじゆずができました。

いちばんたいへんだったのはざげんです。

いっきゆうさんのすわりかたは、あしのくみかたがむずかしくてじょうずにすわれませんでした。

おともだちといっしょにいて、よかったです。

また、いきたいです。

寺子屋修行に参加して

花谷小学校 4年 山田 菜央

私が一番楽しかったことは、そうじとお数珠作りです。

そうじは、正覚院道場でどうきんできようそうしました。1位の人は、かえるのアップリケをもらっていました。私もほしかつたけど、ざんねんながら2位ぐらいでした。

でも、すごく楽しかったです。

お数珠作りでは、友だちとまったく同じ色にしました。とてもかわいくできました。お数珠の色は、パステルカラーの色でエメラルドグリーンやうすいむらさきや白、水色、とてもかわいいビーズでした。

写経は難しかったです。全部書けませんでした。

大変だったことも色々あったけど、楽しかったです。

お昼ご飯のカレーがおいしかったです。おかわりしました。

来年も参加したいです。

招 福 仏像彫刻会

あなたご自身の手で
世界にただ一体だけの
仏さまを彫ってみませんか

須磨寺大仏師山高龍雲先生ご指導のもとお身丈約11センチの福祿寿様を彫る仏像彫刻会を開催します。七福神を毎年一体ずつ彫っていきます。初めての方も大歓迎です。最後に開眼（お精念入れ）のお勤めを行い、合わせて皆様の招福祈願を行います。心を込めて彫った福祿寿様はきっとあなたを見守り救ってくださいます。木の香りに包まれながら、心静かな時間をお過ごしください。



福祿寿 荒彫り



福祿寿 完成

12月11日(火) 10時～16時

場所：須磨寺 書院客殿

参加費：7,000円 昼食代含む完全予約制

お申し込み・お問い合わせ先：☎ 078-731-0416